

# 市民情報サービスのデザイン 給食をもっと身近にするアプリケーションの開発

メンバー： <sup>リーダー</sup> 高橋奎太 北川浩平 工藤正隆 三笠希志香 立花虎太郎

## 市民情報サービスのデザイン

テーマ **公共情報を活用し、函館市の問題解決を目指す**

### 背景

● 公共情報が活用されていない

近年、公共情報の公開（オープンデータ化）が進んでいる。これらの情報を使うことによって生活がより豊かになると考えられるが、情報の認知度とアクセスの不便さから十分に活用されていない。

● IT 技術を用いた地域の問題解決

IT 技術を用いて、地域の問題を解決する活動が注目を集めている。

## 活動内容

5月 ● 函館市の問題調査

- ・函館市のホームページにある意見ボックス
- ・自分たちの生活から感じたこと

6月 ● 外部の方のレクチャー

- ・Code for Hakodate  
IT 技術を用いた地域の課題解決について
- ・函館市情報システム課  
函館市のオープンデータについて

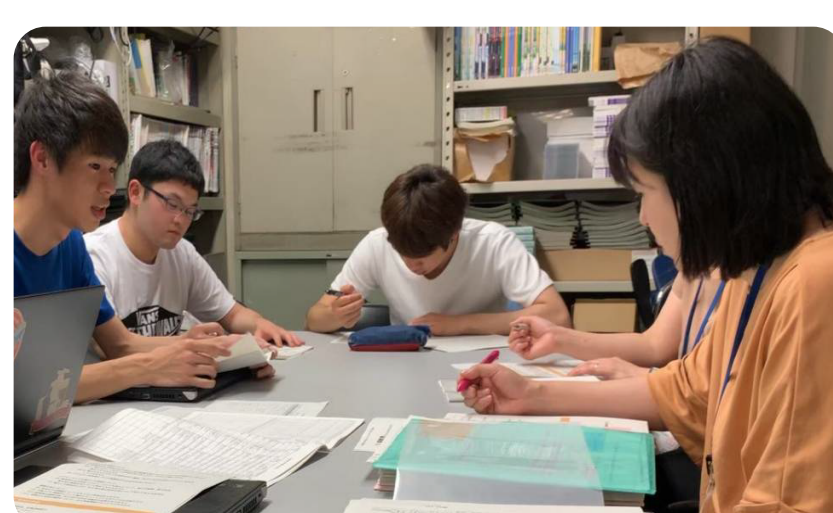
● 取り組む問題の決定

- ・困っている人が明確
- ・他の地域に類似サービスが存在
- ・魅力的なオープンデータが存在

→ 給食に関する問題に決定

7月 ● 開発サービスの設計

- ・モバイルアプリでのアプローチ
- ・市役所へのアイデアの提案



8月

- ・言語勉強

9月 ● 開発開始

10月, 11月

● レビュー

▶ 函館市教育委員会保健給食課

- ・保護者にとってより分かりやすくするにはどうしたら良いか
- ・函館ならではのものを取り入れたい

▶ 中学校の栄養士

- ・栄養価や材料のデータの取り扱いについて
- ・誤表記があったときの責任について



市役所レビューの様子



中学校レビューの様子

12月 ● Android リリース申請

2月 ● 課外発表（予定）

## 現状

● 献立表

- ・情報へのアクセスが不便
- ・掲載できる情報量に限界がある
- ・給食情報の詳細に地域差がある
- ・食材の原産地は載っていない



● 家庭の食生活との関係

- ・朝食や夕食のメニューと給食の関係が少ない
- ・学校以外から情報取得の機会がない
- ・食育が注目を集めている

